

ウェブサイト：www.ilo.org/rsca 国：[RSCA Japan](http://rsca-japan.org) [アジアにおける責任あるサプライチェーン（日本）](#)

連絡先：ナショナル・プログラム・コーディネーター、田中竜介 ILO 駐日事務所プログラムオフィサー、
tanaka@ilo.org、
rsca@ilo.org

報道関係者各位

今回は、「アジアにおける責任あるサプライチェーン」プログラムをご紹介します。このプログラムは、アジアにおける責任ある企業行動のレベルを高めることを目的として、[欧州連合（EU）](#)、[国際労働機関（ILO）](#)、[経済協力開発機構（OECD）](#) が共同で実施しているものです。

<日本での活動>

このプログラムは、自動車部品産業及びエレクトロニクス産業の取組みに焦点を置き、2018 年 2 月から日本で始動しています。このプログラムでは、企業や政府との対話を通じ、良好な企業事例（グッドプラクティス）を共有するとともに、独自の研究を立ち上げ、プログラムの目的に対する理解を深めています。

<なぜこのプログラムが重要なのか>

このプログラムは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大で影響を受けた国や地域の経済を回復させ、将来の危機に対する耐性を高める上で、非常に重要なものとなっています。

日本がこのプログラムの対象国に選ばれたのは、アジアにおける多くのグローバルサプライチェーンや中間サプライチェーンにおいて、日本が不可欠な役割を果たしているからです。日本では、責任ある企業行動の重要性が広く認識されていることに加え、日本自体、責任ある企業行動を行う国として評価されています。RSCA プログラムでは、日本の高い影響力を活用して、サプライヤー企業や調達先の国の事業における責任ある活動に良い効果をもたらすことを目指しています。

好事例の共有、調査その他の取組みを通じて、日本は労働者の権利や環境基準の問題を抱える地域に大きな変化と進歩をもたらすことができると考えられます。

<対象>

2018 年の始動以来、このプログラムでは、アジアにおけるサプライチェーンの相互作用に関するグッドプラクティスを検討する[シンポジウム](#)を日本経済団体連合会と開催するとともに、電子情報技術産業協会（JEITA）と共同して、グローバル・サプライチェーンにおけるベストプラクティスに関する調査を行い（数週間以内に完全版の報告書を発行予定、[関連セミナー](#)にて概要発表）、下位にあるサプライヤーが最新の企業の社会的責任を実践できるよう日本企業を支援する方法を検討する等してきました（[関連セミナー](#)）。

今年の初め、COVID が責任あるビジネスに与える影響に対する高度な政策の方向性と業界の対応に関して、RSCA は、2 つの重要なセミナー（[自動車部品セクター関連セミナー](#)及び[ハイレベルイベント](#)）を開催しました。

<プログラムについて ([国別パンフレットはこちら](#))>

- このプログラムは、ILO の「[多国籍企業宣言](#)」をベースにしています。この宣言は、社会政策と、包括的で責任ある持続可能な職場慣行に関し、企業（多国籍企業及び国内企業）に直接的な指針を与えるものです。
- この地域プログラムは 2018 年 1 月に始動し、資金として **900 万ユーロ**が主に EU から提供され、ILO と OECD の共同によって実行に移されています。
- 日本では、エレクトロニクス産業及び自動車部品産業で事業を展開する多国籍企業及びそのサプライチェーンを対象としています。
- 独自の研究、研修、対話の場の提供、政策提言などを通じて、企業や政府が、優良な企業行動事例に関する国際的なガイドライン（文書）に沿った政策を実行に移すことができるよう支援をしています。実際のところ、これは人権、労働者の権利、環境保護及び説明責任に関する国際基準の遵守を意味します。国際文書の概要については、[「Key Messages from International Instruments」のパンフレット](#)をご覧ください。
- 日本では、プログラムの代表者たるナショナルプログラムコーディネーター（NPC）が、ILO の支援を受けながらプログラムの活動を実行に移しています。この NPC をサポートするのが、プログラムの地域責任者である Fredy Guayacan 氏です。このプログラムは、必要に応じて ILO や OECD のリソースも活用しています。

Pete Forster（forsterw@iloguest.org）

リージョナルマネージャー Fredy Guayacan（guayacan@ilo.org）

ナショナル・プログラム・コーディネーター Mr Ryusuke Tanaka（tanaka@ilo.org）